

尿路上皮癌に対する GC 療法及び MVAC 療法の副作用発現調査に関する研究

1. 研究の対象

2010年4月1日～2018年6月2日に、京都中部総合医療センターで尿路上皮癌(膀胱癌、腎盂癌、尿管癌)に対して、抗がん剤による治療(GC療法:シスプラチン、ゲムシタビン、MVAC療法:メトトレキセート、ビンブラスチン、アドリアマイシン、シスプラチン)を行った患者。

2. 研究目的・方法

尿路上皮癌(膀胱癌、腎盂癌、尿管癌)に対する治療において、シスプラチンという抗がん剤を中心に使用した薬物治療が一般的である。しかし、副作用発現による治療の完遂が困難になるケースが度々見受けられる。そこで、本研究では、尿路上皮癌(膀胱癌、腎盂癌、尿管癌)に対して主要な治療法であるGC療法(シスプラチン、ゲムシタビン)及びMVAC療法(メトトレキセート、ビンブラスチン、アドリアマイシン、シスプラチン)の副作用の起こる頻度の調査を行う。

京都中部総合医療センターにおける尿路上皮癌(膀胱癌、腎盂癌、尿管癌)に対するGC療法(シスプラチン、ゲムシタビン)及びMVAC療法(メトトレキセート、ビンブラスチン、アドリアマイシン、シスプラチン)を導入した患者、2グループで調査検討を行う。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター薬剤部

研究責任者：京都中部総合医療センター 薬剤部 薬剤師主任 荒井久暢

-----以上